

京大リウマチ通信

第26号 京都大学医学部附属病院 リウマチセンター



2020.5.27 文責：橋本

リウマチ患者さんの感染対策について

現在、新型コロナウイルス感染症の流行で、感染症には注意が必要です。今回は、リウマチ患者さんの感染症対策についてお話しします。

リウマチのお薬について



新型コロナ感染については、新しい感染症なので分かっていることがまだ多くありません。リウマチのお薬の多くは免疫力を下げるため、新型コロナにかかりやすくなるのではないかと皆さん心配されていることかと思えます。一方で、新型コロナの治療にリウマチのお薬が効くかもしれない、との報道もあります。では実際のリウマチ患者さんはどうなのか、ということについて、最近の New England Journal of Medicine という雑誌（2020年4月29日電子版）に報告がありました。ニューヨーク市で、3月から4月にかけて新型コロナにかかった患者さんのなかで、生物学的製剤や JAK 阻害薬などのお薬を使用されていたリウマチ（+そのほかの自己免疫病）の患者さんを連続 86 名調査しました。結果としては、それらの患者さんの重症率は一般の方と比べて差がありませんでした。従いまして現時点では、リウマチのお薬が新型コロナにかかりやすくなる、もしくは重症化しやすくなるというデータはありません。



日本リウマチ学会のホームページでも以下のように記載されています。

- ➡ 現時点では、リウマチの治療を受けている患者さんが、新型コロナウイルスにかかり易くなるというデータはありません。
- ➡ 発熱や咳など、感染を疑う症状がない間は、これまで通りリウマチのお薬を継続してください。
- ➡ もし感染を疑う症状がでたときは、原則としてステロイドはそのまま継続し、それ以外の免疫を抑制するお薬については、減量や一時的な延期を検討する必要がありますので主治医と相談してください。

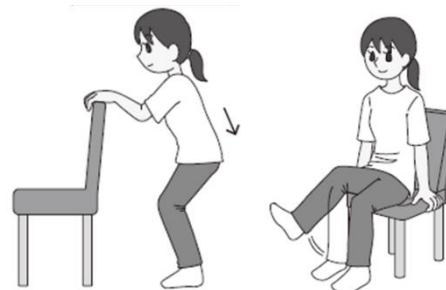
予防について

どのような感染症を防ぐためにも、まずは日ごろからの感染予防対策が大事です。

1. 不急不要の外出や、いわゆる 3 密（密閉・密室・密接）を避けること
2. 手洗い(20 秒以上の石鹸での手洗い、もしくはアルコール消毒)
3. マスク着用
4. 目や鼻、口を不用意に触らないこと



また、体調管理も重要です。十分な睡眠をとって、適度な運動をして、ストレスをためないようにしましょう。家にこもってばかりで、ストレスがたまって夜も眠れなくなってしまうと本末転倒ですので、時には外に出て運動したり、家の中でも、下の図に示すような筋力トレーニングなどをして、体力維持につとめましょう。



10回×3セット

「関節リウマチのサルコペニア合併時の対策について」
(Geriatric Medicine12月号)より引用

外来診療について

- ◎発熱、風邪症状(席、咽頭痛、痰など)、嗅覚、味覚障害がある方は必ず受付でご申告ください。また、状態に応じては受診前に電話連絡をしてください。
- ◎当科では、外来での新型コロナウイルス感染症の診察を行っておりません。感染者との濃厚接触があったり、新型コロナ受診相談窓口への相談基準に当てはまる方は、新型コロナ受診相談窓口にまずはご相談ください。当院への受診を指示された場合は、直接来院するのではなく、まずは電話でご相談ください。
- ◎診察室に入室される場合、(付き添いの方も)必ずマスクの着用をお願いします。また診察時にマスクを外さないようにしてください。
- ◎状態の落ち着いた患者さんにつきましては、当院でも電話診療を行っております。京都大学医学部附属病院のホームページに申し込みの記載がありますのでご参照ください。(医師が通常受診や検査が必要と判断した場合、)電話診療はできません。



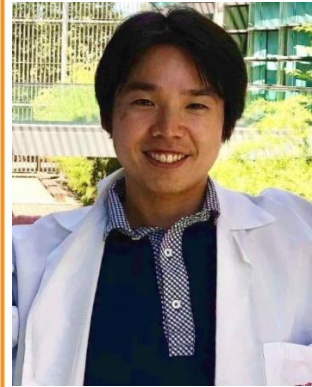
受付時間

午前8時15分～午前11時00分



診察室	月	火	水	木	金
107室	山本				
108室	橋本	村上	田中	橋本	田中
109室	白柏		村田(午前) 伊藤(午後)	伊藤	村田(第2・4) 田淵(第1・3・5)
110室	渡部				

新しい先生のご紹介



渡部 龍 先生

この度、リウマチセンター月曜日外来を担当させて頂くことになりました、膠原病内科医の渡部龍(わたなべ りゅう)と申します。
近年、リウマチの治療は大きく進歩し、たくさんの薬が使えるようになりました。より良い状態を目指して、患者さんと十分話し合っ、診療していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。



脊椎関節炎外来のご紹介(隔週金曜日)

関節リウマチとよく似た関節炎を起こす病気のグループに「脊椎関節炎」があります。脊椎関節炎とは、皮膚の病気の乾癬、腸の病気のクローン病や潰瘍性大腸炎、背骨の病気の強直性脊椎炎、などに伴って起きる関節炎の総称です。関節リウマチとよく似ていますが、リウマチ因子や抗CCP抗体などの血液のマーカーがでてこないことや皮膚や腸、背骨などにも症状がでたりすることが異なります。また、関節の腫れ方は付着部炎が中心になりますが、関節リウマチと少し異なっており、関節エコー検査が有用な場合があります。リウマチセンターでは、脊椎関節炎の専門外来を隔週金曜日につくりましたので、気になる方はどうぞ受診ください。

リウマチに関するご質問、「リウマチ通信」や「リウマチ教室」で特集してほしいテーマがありましたら、外来主治医または外来秘書にお気軽にお申し出下さい。

お問い合わせは…

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター
代表電話 075(751)3111 予約電話 075(751)4891
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

